

## 中野区立小中学校における一足制の導入について

一足制は、中野区立小中学校において上履きを廃止することにより、通学時の下足を履き替えることなく校舎、校庭その他の併設施設等の利用を可能とする施設運用制度である。

新しい時代の新しい学校を整備するうえで今後の新校舎に備えるべき教育環境の一つとして中野区教育委員会より提案があり、検討を重ねた結果、今後改築を進める小中学校の新校舎については原則として一足制を導入することとしたものである。

### 1. 一足制導入の考え方

#### (1) 期待できる効果

##### ① 教育活動の効率性向上

- 靴箱のある昇降口に限定されずに外部と出入りできることから、活動を途切れさせることなく校庭と教室の間で移動することが可能となる。
- 靴の履き替え時間が不要となることにより、円滑な授業進行が可能となる。
- 休み時間等に、より校庭を利用しやすくなり、児童・生徒の体力向上が期待できる。

##### ② 安全性の向上

- 昇降口における事故・トラブル等のリスクを低減できる。
- 災害時におけるより安全な避難・誘導が可能となる。

##### ③ 利便性の向上

- 新校舎に整備する地域開放型学校図書館やキッズ・プラザについて、動線の制限なく一体的な活用が可能となる。
- 来校者対応等の負担を軽減できる。

##### ④ その他

- 施設の効率的なバリアフリー化推進が可能となる。
- 昇降口における靴箱スペースが不要となる。

#### (2) 短所

- 校庭の表層仕上げが人工芝等に限定され、整備コストが増大する。
- 体育館を利用する際には、体育館用靴に履きかえる必要がある。
- 雨天日には床マット等を使用するなど、床の水濡れに対応する必要がある。
- 雨天日に長靴や濡れた靴を一日中履くことに対する衛生上の不安。

## 2. 制度導入までの経過

- 平成28年 6月・教育委員会より一足制導入の提案を受け、検討を開始  
9月・子ども文教委員会にて、一足制の導入に向けた検討の開始について報告（第三中学校・第十中学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画の策定）
- 平成29年 3月・子ども文教委員会にて、一足制を含めた新たな教育環境整備の検討について報告（中野区立小中学校施設整備計画の一部改正）  
・教育委員会事務局による一足制導入校（港区）の視察  
4月・子ども文教委員会にて、統合新校舎における一足制導入の検討について報告（統合新校校舎等整備基本構想・基本計画の策定）  
9月・教育委員会事務局による一足制導入校（台東区）の視察  
12月・子ども文教委員会にて、新校舎整備における一足制の導入について報告（中野区立小中学校施設整備計画の一部改正）
- 平成31年 2月・緑野小学校において一足制運用の実証実験（4日間）

## 3. 一足制を導入予定の新校舎供用開始時期

- 令和2年度
- ・美鳩小学校
  - ・みなみの小学校
- 令和3年度
- ・中野第一小学校
  - ・中野東中学校
- 令和4年度以降
- ・令和小学校
  - ・南台小学校
  - ・第四中学校・第八中学校統合新校
  - ・鷺宮小学校・西中野小学校統合新校
  - ・平和の森小学校 他